セミナーⅡａ

開講学科	法律政策学科
配当年次・開講期別	2年次・前期
必修選択の別 単位数	必修・2単位

安保 克也

授業概要

演習内容は、3・4回生への専門ゼミ（セミナー）へ導入という位置づけなので、法学の基礎を学ぶ。その結果、法律に関連する「資格」が取得できるレベルに能力が高められると考えている。
授業の具体的な内容は、前期は法律学一般に関する基礎知識を学習することを目標とする。法律面では、判例の基礎学習を行う。
最後に、受講生側からの希望があれば、希望に応じたゼミ運営をするつもりである。

授業の到達目標

法的思考力の基礎ないし概要が身につくことが目標である。具体的に言うならば、我々は①情に訴える論法から②功利論的論法に進み、最後に③ルール（法的）論法に進む。
ゼミでは、①の段階がほとんどの学生諸君を、②の段階にレベルアップさせ、１年間を通して③の段階に導くことを計画しているので、ルール（法的）論法が少しでも身につけさせられることを目標としている。

授業計画

1　オリエンテーション、自己紹介

2　人権映画鑑賞

3　レジュメ・パワーポイントの作成方法、討論の方法

4　人権映画会鑑賞

5　法とは何か

6　条文・判例の読み方の基礎

7　憲法１（箕面忠魂碑・慰霊訴訟、愛媛県玉ぐし料訴訟など）

8　憲法２（小売市場事件、薬事法距離制限事件、森林法共有分割制限訴訟など）

9　憲法３（第三者所有物没収事件、高田事件など）

10　憲法４（朝日訴訟、堀木訴訟、旭川学力テスト事件など）

11　憲法５（尊属殺重罰規定事件、女性再婚期間制限違憲訴訟など）

12　憲法６（前科紹介事件、京都府学連事件、早稲田大学江沢民事件など）

13　憲法７（マクリーン事件、猿払事件など）

14　民法全体構造

15　まとめ

テキスト

『ウォーミングアップ法学』石山文彦(ナカニシヤ出版)

成績評価の方法

平常点：90%　レポート課題：10%

参考書

・小川仁志「超訳『哲学用語』事典」ＰＨＰ文庫
・小川仁志『はじめての政治哲学』講談社現代新書
・仲正昌樹『改訂版〈学問〉の取扱説明書』作品社
・マイケル・サンデル「これからの『正義』の話をしよう」早川文庫
・夏樹静子『裁判百年史ものがたり』文藝春秋
・池田真朗他『判例学習のA to Z』有斐閣
・吉田利宏『法律を読む技術・学ぶ技術[第2版]』ダイヤモンド社

他科目との関連､受講に際しての注意等

ゼミ担当教員の科目はすべて履修してあること。
また、「哲学」、「論理学」、「倫理学」、「思想史」、「宗教学」、「西洋史」などの科目は、可能な限り履修すること。これらの基礎が法律を学ぶ上では必須の知識である。
履修していなければ、高校の「政治経済」、「現代社会」、「世界史」の教科書などを読んでおくこと。